

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 心を養う

- 幕末の大儒学者、佐藤一斎は徳川幕府唯一の大学であった昌平坂学問所を主宰した人である。その門に学んだ者、三千人に及ぶ。中から佐久間象山、山田方谷、河井継之助など、幕末期の日本を動かした逸材が巣立った。西郷隆盛も佐藤一斎に深く傾倒し、彼の著作「言志四録」を貪り読んだ。
- 「言志四録」で言われていることは、二つに収斂することができる。  
一つは、人生に対して覚悟を決めよ、ということである。  
二つは、敬の心を忘れるな、ということである。  
覚悟を決めない人生は、空々漠々たるものに終わる。覚悟を決めても「敬」の心を失う人は傲慢になり、人生を誤る。そのことを繰り返し説いている。換言すれば、「心を養え」ということである。
- また、「閑想客観は志の立たざるによる。一志すでに立ちなば、百邪退聴す」とある。つまらないことを考えたり、心を奪われるのは、志が立っていないからだ。一つの志がしっかり立っていれば、もろもろの邪念は退散してしまう、との意味である。  
(参考:「致知」2007年1月号)

## ワンポイント経営アドバイス

### 創業者の潔い決断

创业者にはオレがオレがいう人が多く、会長に退いても実権は渡さない。しかし、事業継承がうまくいっている企業の共通点は次のようなものである。

- 早く引く。ただし引いたら口を出してはいけない。
- 後継者は1人に決める。兄弟で事業を営んでいる場合は、どちらかがナンバーツーと割り切ること。
- 創業者のブレーン(番頭)は、自分と一緒に退陣させる。
- 遺言は残し、後継者にきちんと株式が渡るようにする。
- 後継者に苦労させる。できれば、会社をつくらせる。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2006年11月4日号)

## 海外事情

### 中国家電業界淘汰の時代へ

- 長く戦国時代にあるとされてきた中国家電業界が、本格的な淘汰の時代を迎えようとしている。ここまでの推移を見ると、たとえばTVメーカーは、1995年の200が2005年には60に減ったが、今年は40となり、5年後に生き残れるのは10~15と予想されている。また、エアコンでは、2000年に400あつたメーカーが2005年には70前後、今年は50前後へと減少している。最近の大型家電量販店の統合が、こうした淘汰を加速するのは間違いない。
- 統合は、すなわち量販店店頭の商品陳列棚の縮小を意味し、陳列に食い込めないブランドは退場せざるを得ないからだ。加えて、海外多国籍企業が、年率12%以上の高成長を見せる中国市場への参入を本格化している。(参考:「WEDGE」2006年12月号)

## 古典に学ぶ

### 歴史を読み

「人の一生の履歴は幼時と老後を除けば、率ね四、五十年間に過ぎず。その間見するところ殆ど一史だに足らず。故に宜しく歴代の史書を読むべし。眼をつくるところは最も人情事変の上にあれ」

(訳) 一生は幼老の時を除けば、四、五十年。その見聞は歴史の一部にも及ばぬ。だから歴代の史書を読むがよい。そのときは人心の動き、事変の変化に注目するがよい。(参考:佐藤一斎「言志四録」):PHP文庫